

各 位

平成 19年 10月 30日

東京都港区芝5-33-1会社名: 森永乳業株式会社

代表者名:取締役社長 古川 紘一

(コード番号: 2264)

問合せ先:

執行役員広報 I R部長 間瀬 俊博

TEL (03) 3798-0126

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、本年5月16日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

Ⅰ.中間期の業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

1. 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	315,000	9,600	10,600	4,800
今回修正予想(B)	312,000	8,200	8,200	3,400
増 減 額 (B-A)	△3,000	△1,400	△2,400	△1,400
増 減 率 (%)	$\triangle 1.0$	$\triangle 14.6$	riangle 22.6	riangle 29.2
(ご参考) 前期(平成18年9月中間期)実績	306,080	8,949	10,099	3,857

2. 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	238,000	5,600	7,100	3,000
今回修正予想(B)	239,000	3,400	5,200	1,500
増 減 額 (B-A)	1,000	△2,200	△1,900	△1,500
増 減 率 (%)	0.4	△39.3	△26.8	△50.0
(ご参考) 前期(平成18年9月中間期)実績	230,697	4,657	6,637	3,591

3. 修正の理由

- (個別) 当中間期の業績につきましては、乳飲料の「マウントレーニア」シリーズ、アイスクリーム、飲料のリプトンフルーツティーなどの好調から売上高は前回発表予想を上回る見込みであります。しかしながら、利益面におきましては、予想を上回る原材料価格の高騰、販売競争激化にともなう売上単価の低下や販売促進費の増加などの影響が大きく、営業利益、経常利益、中間純利益は、売上増による増益では賄うに至らず、前回発表予想を下回る見込みであります。
- (連結) 個別の業績が連結にも影響し、営業利益、経常利益、中間純利益は、前回発表予想を下回る見込みであります。なお、売上高については、子会社の一部が取引形態の変更にともない、売上高計上を手数料収入計上に変更した影響もあり、前回発表予想を下回る見込みであります。

Ⅱ. 平成 20 年 3 月 (通期) の業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日~平成 20 年 3 月 31 日)

1. 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	590,000	11,900	13,500	5,100
今回修正予想(B)	585,000	10,000	10,000	3,500
増 減 額 (B-A)	△5,000	△1,900	△3,500	△1,600
増 減 率 (%)	△0.8	△16.0	$\triangle 25.9$	△31.4
(ご参考)前期(平成 19 年 3 月期)実績	578,257	10,623	12,535	5,329

2. 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	450,000	6,400	8,500	2,900
今回修正予想(B)	452,000	3,700	6,000	1,100
増 減 額 (B-A)	2,000	△2,700	△2,500	△1,800
増 減 率 (%)	0.4	$\triangle 42.2$	$\triangle 29.4$	△62.1
(ご参考)前期(平成 19 年 3 月期)実績	440,001	4,952	7,601	3,021

3. 修正の理由

下期におきましても、当社グループにおいては中間期と同様の厳しい経営環境が続くものと 予想されます。このため、通期の業績予想につきましては、連結・個別とも中間期の業績予想 の修正を反映して見直しております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、 実際は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。